



1873→2025

たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい

高鷲小学校だより

令和7年度 (r8) 2月号

令和8年2月1日
羽曳野市立高鷲小学校
発行: 校長 小島 博之

過去の出来事や日常の備えを自分事に

1月20日に震災朝会がありました。事前に各学年で「地震がおこったらどうするのか」など学習したのち、当日全員が体育館に集まり、6年生が修学旅行での1.17阪神淡路大震災に関する聞き取りや見学など体験学習やその後に取り組んだ探究学習の成果をスライドにまとめて、地震や防災にかかるクイズなどを通して「いつおこるかわかりません」「逃げる場所を決めておきましょう」等わかりやすく発表してくれました。今年も全員の思いを込めた歌声「しあわせはこべるように」が体育館に響きました。



1月30日は地震を想定した避難訓練。私は2時間目に3年生教室で授業を見た後の休み時間に高鷲っ子とおしゃべりをしていましたが、地震発生放送が入った途端さっと机の下にもぐり身を隠す高鷲っ子。避難指示放送が入るとそれぞれいた場所から頭を守りながら「お・は・し・も」で運動場へ。偶然上空でヘリコプターの大きな音がしていましたが、それ故に静かに話に集中する高鷲っ子の姿に感心しました。



令和8年は昭和百一年。阪神淡路大震災から31年、東日本大震災から15年、高鷲っ子は知りません。前回の南海トラフから80年でその周期から次に備える必要があります。過去の出来事や日常の備えを自分事につなげる。高鷲っ子みんなが「なんのために学んでいるのか」をよく考え、正しく行動できる、そんなきっかけになればと願います。

◆「たかわし」を大切に～【たくましく】【かんがえて】力をつける高鷲っ子

1月20日の震災朝会の際に、昔神戸のボランティアの方からお聞きした「震災の時に毎日あいさつをしていた子の姿が見えないので探していたら、その子の声で居場所がわかって助けることができた」お話をしました。そのお話の後、高鷲っ子のあいさつが一段変化。登校ボランティアの方からもほめていただきました。

1月30日の避難訓練直前の授業中。先生の「黙って辞典調べするよ」に続き「今地震起こったら放送聞こえへんから静かにしよう」と高鷲っ子。よく考えて発した言葉を訓練で紹介しました。あわせて、東北の被災地の学校で津波から逃げるためにマラソンを頑張っているお話をした直後の体育の授業では「校長先生、逃げるから見といて!」といつもにも増して真剣に力強く走りぬく高鷲っ子。**【たくましく】【かんがえて】**力をつけています。



◆2月行事予定(3月主なもの)は裏面に掲載しています。ご確認よろしくお願ひします。

2月の参観・懇談は、各学年別で日を設定して実施します。いずれの学年も5～6時間目です。

1年生:20日(金)教室 2年生:26日(木)体育館 3年生:20日(金)体育館

4年生:19日(木)体育館 5年生:27日(金)体育館 6年生:5日(木)教室

高鷲っ子の今年の集大成をご覧いただき、さらなる成長に向けたお話ができる時間にしたいです。各学年の内容や時程等については各学年だより等にてお知らせします。よろしくお願ひいたします。

専門家から豊かに学ぶ高鷲っ子

1月15日の3年生教室。羽曳野市のICT教育サポート「みのりの里」によるプログラミング体験学習。まずは紙にロボットをどう動かしたいか1つ1つの動作を細かくイメージした設計図を描き、それをタブレットに差したプログラミング用基板「IchigoDake」に読み込み、ロボット本体に「IchigoDake」を移して実際に動かします。ところがところが…イメージ通りにロボットが動いてくれません。「ん～んなんてや?」「一旦止めるの忘れてた!」。設計図→タブレット→ロボットを往来し原因を検証する高鷲っ子。解決の度に「よっしゃ～!」の歓声。一番学んだことは「毎日の生活で1つ1つの動作をよく考えて丁寧に取り組むこと」かもしれません。

1月23日の1年生教室。市内の読書ボランティア「おはなしの森」によるお話会。何も見ずに語られるお話の展開に「わ～」「次は次は～」と引き込まれる高鷲っ子。落ち着いた雰囲気の中、ストーブの大きな炎の音と「願いが叶うろうそく」の小さな炎のゆらぎが、教室と高鷲っ子の心に温かさを灯しました。このあと全6日間で全学年にお話とたくさんの絵本の紹介をしていただきました。

1月29日の音楽室。市内で演奏されている琴や尺八の楽会による6年生の和楽器体験。尺八とお琴3竿による師範演奏に目を見張った後、いよいよ自分で音を出します。お琴では恐る恐る弦に触るも「さくらさくら」の連弾がはまり「めっちゃ上手～」と拍手。尺八ではスースー悪戦苦闘も時折出る風流な音色に「今の誰? すごい～」と歓声。和気藹々さと心地よい達成感があふれました。

いろいろな専門家が高鷲っ子の豊かな体験の窓を開いてくれます。「こんなこと出来たらいいな」をたくさん増やしたいですね。



◆「たかわし」を大切に～「みんな大切な高鷲っ子 みんなで見て みんなで育てる」

校区と市のみなさまの実行委員会の主催で、PTAのみなさまにもご協力いただきながら、放課後子ども教室を年数回実施していただいています。1月28日はディスクゲッター。体育館にたくさんの高鷲っ子が集まり、大人の方から投げ方を教えていただきます。「あちゃ～」「ナイス～」当たっても外れても歓声と笑顔があふれます。楽しい時間はあっという間。高鷲っ子のためにいつもたくさんのご準備と温かいお心遣いに、心から感謝いたします。

